



1990年(平成2年)

10月14日

*年4回発行

*校区全戸配布

事務局・堺市赤坂台2丁5-1(保育園内) ☎98-4500

赤坂台子ども供カ〜ニバル 今月二二日、赤坂台小学校で

校区福祉協議会主催の恒例行事「第四回赤坂台子供カ〜ニバル」は、来る一〇月二一日(日)午後一時から赤坂台小学校運動場で開催。雨天のときは一一月四日(日)に順延。



(写真は昨年の第三回カ〜ニバル)

手づくりと伝承のあそび

今年のテーマは、「手づくりと伝承のあそび」に決まりました。子ども自身が考え、作り、それを使って、楽しく健全な外遊びをしようという趣旨です。

そこで、各単位子供会では『わりばし鉄砲』『ボーリング』『パターゴルフ』『かんポックリ』『ブーメラン』『ブンブンこま』『かまぼこ板あて』など、子ども自身がいろいろ工夫しています。

消防署のジャンボ迷路

今年は、泉北消防署のご厚意で、「ジャンボ迷路」を提供していただくことになりました。楽しみながら避難訓練ができるというわけです。ま

たシュノーケル消防車の操作実演、警察白バイのデモンストラーションもあります。大人の体力測定なども

会場には大人のための体力測定コーナーも用意されています。日頃運動不足の大人の皆さん、当日は童心にかえって、挑戦してみませんか。

校区福祉協議会担当理事の

辻林茂さん(芥丁一四番)の話

「カ〜ニバルのねらいは地域の青少年の健全育成ですが、今年は過去三回とは少し趣向を変えてみました。今や子どもは、テレビゲームやビデオなど他から与えられる遊びに夢中なのですが、準備の話し合いのなかで、これいいのかという声が強くだされ、子どもたちに自分で遊びを創る喜びを体得させようということになりました。校区あげでの応援をお願いします」。

家庭訪問にも着手

五カ月目の『赤坂ほのぼの会』

ボランティアグループ「赤坂ほのぼの会」が四月二四日にスタートしてから五カ月、着実に活動を進めています。

既報のように、まず「電話訪問」から活動を開始しました。高齢者クラブのご協力

で、ひとり暮らしの方を調べていただき、ご希望があった一〇名の方に、週二回程度電話して安否を確かめたり、要望などをお聞きしています。

なかには電話訪問だけでなく、直接お宅にお伺いするようになった方もあります。これはお互いに心の触れ合いを求めて自発的に活動が発展したのですが、このような流れを大切にしたいものです。

「ほのぼの会」では、「当

面、手助けを求めておられる方々の要望をどう汲み取るのか、ボランティアの確保、資

金面などの問題があります。大きな期待をもたれている方にとって、現状について不満もあろうかと思いますが、あせらずに一步一步確実に前進したく思っています」と、話しています。

たとえ歩みは遅くとも

上畑浩二・代表に聞く

赤坂台校区ボランティア企画委員会代表の上畑浩三さん（三丁七一八）は、「ほのぼの会」運営の基本を次のように語っています。

①ボランティア活動は、行政機関の肩替わりではない。

ボランティア活動は、行政機関の肩替わりをするものではなく、行政の手の届かないところに手をさし延べたり、同じ地域に住むもの同士が、お互いに助け合って、少

しづつ枠をひろげ、けっして無理なことはしません。また必ずしも他のボランティア活動をモデルとせず、校区独自のものを求めていきます。

③「志」（こころざし）のある人は、どなたでも、いつでも参加を。

ボランティアグループに参加する人は、それぞれに条件が異なります。条件に合った活動をお願いし、できないことを強要せず、安心して参加していただくようにします。

※ ※ ※

ボランティア活動についてのお尋ねは、左にお電話を。

◎ほのぼの会代表・手拝康子さん（九八一五七一九）

◎ボランティア企画委員会代表・上畑浩三さん（九九一五四三七）

◎赤坂台校区福祉協議会事務局（九八一四五〇〇）

赤坂台ふるさと祭り

これまでの盆踊り大会を拡大した赤坂台校区連合自治会主催の「赤坂台ふるさと祭り」は、去る八月一日・二日三会場で開催、時間をずらしたので、こどもからお年寄りまで多数の方にお越しいただきました。

またアベテイト、赤坂台専門店など地域商業者各位のご支援もあり、例年以上に楽しい祭りになりました。

第一会場「赤坂公園」メイン会場で、盆踊りを中心に、アベテイトさんが舞台を設営して提供されたブラジルのダンスチーム《ザ・フォーリーズ》のショーのほか、地域の皆さ

「赤坂ほのぼの会」の綿菓子模擬店なども喜ばれました。

第二会場「赤坂台自治会館」抹茶席、ふるさと祭りポスター



連合自治会のページ

展、写真展および婦人委員会バザーを開催。併せて赤坂台郵便局に版画や切手の展示もしていたいただきました。

抹茶席は、本席と椅子席を設けて、おいしいお抹茶とお菓子を落ち着いた雰囲気なかで多くの方に味わっていただきました。お世話になった

町田先生(四丁)はじめ区内各先生にお礼申し上げます。婦人委員会のバザーも、多額の活動資金をつくることができました。

第三会場「アベテイト駐車場」

泉北障害者作業場の福祉バザーを開催しました。

ふるさと祭りポスター入選者

会長賞 山内正志 (三丁)

高学年 薬師寺和代(二丁) 林田五月 (三丁)

低学年 沢田雅美 (二丁) 木本千穂 (四丁)

幼児 いしがきむつこ(六丁) 小林りょう子(五丁)

優秀賞 荒木あゆみ(五丁)

高学年 赤井佳奈子(五丁) 塩見有香里(五丁)

的場由佳 (五丁) 山内 愛 (六丁)

低学年 嵯峨根則夫(二丁) 横山 大 (六丁)

桃井亜希子(三丁) 広野宏正 (六丁)

池治宣晃 (六丁) 平野なな (六丁)

中村美里 (二丁) いくしままなぶ(六丁)

高山 舞 (二丁) 石井 司 (六丁)

古手川留美(三丁) 塚野剛成 (六丁)

抹茶席、ふるさと祭りポスター

美しいふるさとを

宇川博之



子どもたちにとって、育てられた土地は、人生にとっての聖地であり、懐しのふるさとであります。子どもが自分の育った土地を誇りとして、これを大切に将来にわたって親しみ、懐しく思う心は、子どもの豊かな人間性を培う上で欠かせないことです。

赤坂台は丘陵地を開発したすばらしい環境、美しい自然があり、温かい人情と豊かな感性にあふれたすばらしい地域社会です。特に連合自治会福祉協議会の皆様を中心とした組織的活動がめざましく充実しております。そして今回福祉活動推進モデル校区からさらに福祉活動推進校区に指定されました。そして子どもたちのため「子どもカーニバル」に、美しく、充実した教育環

境を整え、真の教育熱を発揮し、楽しく、生々とした学校生活を味わせ、いつまでも心の中に残る美しい懐しい思い出つくりを惜しみない努力をする責任があります。私たち大人は、責任をもつ

境を整え、真の教育熱を発揮し、楽しく、生々とした学校生活を味わせ、いつまでも心の中に残る美しい懐しい思い出つくりを惜しみない努力をする責任があります。私たち大人は、責任をもつ

赤坂台小学校一輪車クラブが発足した当クラブも、現在では四年生から六年生まで五八名もの大世帯。夏休み中も技術職員の小松さんの指導で、まっ黒になつて練習、八月二六日には一輪車の大阪大会に出場、一〇月一四日には恒例の御堂筋パレードにも参加します。



(写真は昨年の御堂筋パレード)

堺まつりにでます 赤小一輪車クラブ

また堺まつりには、一輪車クラブと同様に熱心に練習にはげんできた赤坂台小学校トラベレット鼓隊二〇名も参加、パレードに花を添えます。

赤ちゃんが減る

平成元年に生まれた赤ちゃんは、一二四万六千人で前年より六万七千人あまり減少して三年連続史上最低記録を更新していることは、毎年紙上で発表される人工動態でご存知と思います。

戦後わが国の出生力が低下傾向を見せ始めたのは昭和四九年石油ショックを契機とした低経済成長への転換が起った時からで、毎年約五万人づつ減りつづけている訳であります。女性一人が生涯に産む子供の数の平均を表す合計特殊出生率は一・五七（東京都は一・二四）となり、出産を控える傾向のある昭和四一年丙午（ひのえうま）の一三六万人、一・五八をも下回る史上最低となりました。二・一を割ると人口の減少が始まるとされ、二一世紀初めにも一

五歳以下の年少人口と六五歳以上の高齢人口が逆転することを意味します。六五歳以上の高齢者の人口が一〇パーセントを越える高齢社会になるのは、平均寿命が延びて高齢者が多くなるからだと思います。

人口のバランス



らだと思ってい
る人が多いので
すが、実際は少
産少死に起因す
るもので、出生
率が水準にあれば
高齢化社会にな
りません。

進む高齢化
敬老の日をまえ
に厚生省が発表

した百歳以上の長寿者は三二九八人と二〇年間で一〇倍に達し、うち女性が約八〇パーセントを占め、平均寿命も女性八一・七七歳、男性七五・九一歳と日本が世界一の長寿

国を維持していることはそれだけ超高齢化へのスピードも予想以上に早いといえます。三〇年前には一二人の働き盛りの人が一人の長寿者を養っていたのが、二一世紀初頭には三人で一人を養わねばならない計算になります。

教育費の負担増や地価高騰による『ウサギ小屋』への不満がうっ積し、女性の結婚・出産・育児に対する価値観の変化や子供を作らない権利の主張など女性をとりまく社会環境が大きく変化していることを認識しなくては、育児手当や育児休暇などの政府の緊急対策も空しい茶番劇に終るのではないのでしょうか。

みんな考えてよう

人口構成の高齢化と出生率の劇的な変化は先進国共通の現象でありませんが、世界の人口は昭和六二年に五〇億人を

突破し、最近一五年間で約一三億人増加した九〇パーセントは発展途上国が占め、飢餓と地球全体の環境破壊が進行している現実もあります。高度経済成長を続ける日本の繁栄・GNP（国民総生産）

世界第二もその実体は自然を食い潰す泡沫（うたかた）の貧しいお金持ち日本ともいえるのです。

若年労働力の不足が一層深刻化すると、年金や医療費などに代表される高齢者扶養負担が増加しつづけて国力の衰亡につながることは遠い将来の話ではなくなつて来ている。今こそ、未来の子供のために、病める地球を救うために、一市民が地域で手をとりあつて助けあつて実践的な活動を積み重ねていきたいものです。（赤坂台医療センター『浜中産婦人科』院長）

入浴介助サービス

ねたきりや痴呆性のお年寄りを介護している家族にとって、「入浴」の悩みは切実です。老人福祉の制度には、入浴援助のサービスがありますので、紹介しましょう。

お年寄りが施設に通い、入浴を含むサービスをうける制度。送迎付き、付き添いは不要。申請・問い合わせは、泉北福祉事務所（電話九九一五一三一）へ。

【日常生活用具の給付】

介護に便利な用品を給付します。入浴用具は、湯沸器付

福祉協議会構成団体紹介③

防犯委員会

赤坂台の皆さん、こんにちわ。あまり聞き慣れない委員会かも知れませんが、正式には「泉北防犯協会赤坂台支部」のことです。連合自治会の下部機関に位置づけられ、発足してからすでに六年目に入りました。各単位自治会から推薦登録された委員一六名で運営されています。

主な活動は、毎月定例会を

浴槽、洗髪器、入浴担架の三品。所得に応じて負担金がある場合があります。申請・問い合わせは、泉北福祉事務所（電話九九一五一三一）へ。

【デイサービス】
お年寄りが施設に通い、入浴を含むサービスをうける制度。送迎付き、付き添いは不要。申請・問い合わせは、泉北福祉事務所（電話九九一五一三一）へ。

【シヨートステイ】
介護者が介護できない時、施設で短期間お年寄りを世話してもらう制度。施設の日程に応じて入浴できます。申請・問い合わせは、泉北福祉事務所（電話九九一五一三一）へ。

【シヨートステイ】
介護者が介護できない時、施設で短期間お年寄りを世話してもらう制度。施設の日程に応じて入浴できます。申請・問い合わせは、泉北福祉事務所（電話九九一五一三一）へ。

忘年会で、このときばかりは支部長以下多士さいさいのメンバーで、大いに氣勢をあげ親睦を深めています。

＊（堺市老人介護者へ家族への機関紙「介護者だより」第八号より転載、同会は堺市総合福祉会館内）。

編集余話

★一〇月の赤坂台は「子供カニバル」の季節、第四回の今年は二一日午後一時から小学校グラウンドで。大人向けの企画もたくさん用意していますから、お揃いでおいでください。★赤坂台ふるさと祭りのときに、ボランティアグループ「赤坂ほのぼの会」がだした綿菓子模擬店の純益は六万一二〇〇円。大切な資金として有効に使わせていただきます。★高齢者や身障者の御家庭などで、ハボランティアの手助けへのご要望があれば、どんなことでもご遠慮なく校区福祉協議会事務局（電話九八一四五〇〇）にご相談ください。★「ハロー」への投稿を歓迎します。福祉に関係があればなんでも結構、匿名も可。保育園のポストに入れてください（M）